

お茶の時間



低温被害で摘み取れず心配されたが、今年もおいしい新茶を味わうことができた。我が家では三度の食事に煎茶は欠かせない。

久し振りの登山を兼ねて夫を説き出した休日の早朝、のんびりお茶を飲みながら、タイトル横の花の絵でも描こうかとスケッチを広げた。

昨年の5月から6月初旬には咲き誇って描かれていた花々が、今年はさっぱりで、ここ数日の気温でようやく春やがてきた。

国の情勢も同様で、鳩山首相の突然の退陣、懐疑的誕生した菅新首相のお陰なのか、低温から平年並みまで上昇したのか様相だ。これらしてもテレビに出演する政治家や評論家、又、これらに類する人々の、何が何だかわからない均一的言動が目にかかる。

放送界は視聴率に振り回され、政界は支持率に一喜一憂だ。支持率は、全国無投票に拘り、統計としているが、諸道結果を見る限りに疑問符が付かまとう。調査機関は木曽の頃のようだ。

6日昼、近くで九コウの鳴き声が響いた。生の声は東海らしい。



名前を樂しまむ

新潟の高名な書家・江利菴竹代の板書「明眸皓齿」

六十歳になられた年、目前で書といふべき作品だが、もう言ふべき機会は望めまい。有りし日の姿を甚ざと想ひ出す。明眸皓齿は、明眸の美しさ、皓齿の白く輝く歯の意で美人の形容だ。

唐の詩人杜甫の「哀江頭(江櫻)」に、「明眸皓齿今何在」とあります。安禄山の乱で殺された楊貴妃を指す。どうか、今どきにいふと、どんなに美しいんだろ？

天皇とされています。古事記には「此の天皇、御身の長、九尺二寸半(280センチ)、御歯の長さ一寸(3センチ)、広さ一分(6ミリ)、上下等しくととのひて、既に珠を貫けるが如くなりき」と云々と書かれています。それほどではなかつたとしても長身で立派な歯をしていました。現在、反正天皇は大阪府松原市岡の柴籬(しばがき)神社に祀られ、その境内に歯神社として歯の神様としても祀られています。

広げよう 噛むから始まる 健康づくり (歯の衛生週間より)

歯のよもやま話 第1話

歯の神様 二

日本のもつとも古い書物である古事記に名前に歯のつく人が二人登場します。一人は瑞歎別尊(みずはわけのみこと)といい、第一八代反正(はんぜい)天皇とされています。古事記には「此の天皇、御身の長、九尺二寸半(280センチ)、御歯の長さ一寸(3センチ)、広さ一分(6ミリ)、上下等しくととのひて、既に珠を貫けるが如くなりき」と云々と書かれています。それほどではなかつたとしても長身で立派な歯をしていました。現在、反正天皇は大阪府松原市岡の柴籬(しばがき)神社に祀られ、その境内に歯神社として歯の神様としても祀られています。



歯神社の瑞歎別尊の看板

西洋においては歯科医師の守護聖人として知られているのが聖アポロニアです。



西洋においては歯科医師の守護聖人として知られているのが聖アポロニアです。

もう一人は、第二十三代顯宗(けんぞう)天皇の父君で市邊忍歎別尊(いんのちのべのおしはわけのみこと)といい、權力争いに敗れて暗殺されました。その御子が天皇の位についた時、父の亡骸を探していた所、淡海國の老婆が進み出て、「尊の骨を埋めた所を知っています。亡骸の歯を見れば王子と判ります。」と証言し、そこを掘った所、乱杭(押歎)といつたらしい。現代でも八重歯を出し歎(おし歎)というところがあるようです。歯の骨が出てきて、忍歎別尊の骨と判つたと書かれています。まさに現代の警察の鑑識と同じような話が残っています。



1982年FDI総会(ウィーン)記念切手

